

前回送付資料からの主な変更点等

第2章 豊川市の現状と課題		
ページ	変更点	摘要
全体	「統計からみる現状」について、出典資料を注釈を含め年度で統一しました。	
14	「地域活動等の状況」について、町内会加入率の記載から、町内会加入世帯数に置き換えました。	担当課と調整し、現在は町内会加入世帯数を指標としていく方向性であるため、加入世帯数のグラフに修正しました。
15	委員数の再確認を行い、修正しました。	
29	⑥豊川市障害者地域自立支援協議会相談「支援事業所会議」の「団体として地域貢献できること」について、主な意見として記載する内容を修正しました。	障害者への理解やサービスの促進に関して、地域や支援者に対して可能なことを記載することとしました。
第4章 施策の展開		
「3 指標の設定」については、資料1のとおり目標値を検討いたしました。計画本体には現状値（令和3年度末）と目標値（計画最終年度となる令和9年度）の記載がされます。新型コロナウイルス感染症の影響により、現状値が落ち込んだこともあり、5年前の値に近づけることを目標としながら、着実な推進と改善を目指していくことを目標としました。		
ページ	変更点	摘要
全体	【具体的な取り組み】を【それぞれの立場の役割と取り組み】に改め、タイトルと記載されている事項の統一をしました。市民・地域は「役割」、行政と社会福祉協議会は「取り組み」として整理しました。「主な事業」の記載についても「主な取り組み」として整理しました。	市民・地域の取り組みを、行政からの押し付けにならないよう「役割」と記載し、その役割の中でできることに取り組むようものとしました。また、行政と社会福祉協議会の取り組みについては、「主な事業」を「主な取り組み」に改め、具体的事業に加えて、政策の方針についても記載できる形としました。
44	目標指標「市が実施する福祉に関する出前講座の講座数」を「開催数」に改めました。	
47	施策「地域福祉の拠点づくりの推進」の表記として、記載している施設の順番を変更しました。	施設の規模等によりを整理しました。
49	施策「ボランティア・市民活動の活性化への支援」の主な取り組みについて、「市民協働推進事業補助事業（市）」を追記しました。	
49	施策「人材の育成」の主な取り組みについて、「ボランティアの養成」を削除しました。	「ボランティアの養成」については、下記に主なものが列記されているため、削除しました。

第4章 施策の展開		
50	【現状と課題】についての一つ目、町内会加入世帯は増加しているが、世帯分離による市全体の世帯数増加により、町内会加入率が低下していることを踏まえた文章に修正しました。	
52	ごみ屋敷の表現を修正しました。	セルフネグレクトに改めました。用語集にも記載予定です。
52	【目標指標】について、「生活保護受給者に対する就労支援事業の利用者数」を削除しました。	再度検討した結果、目標指標としては削除として整理しました。
57	施策「権利擁護体制の充実」の主な取り組みについて、「障害者差別解消支援地域協議会の開催（市）」を追加しました。	
60	【目標指標】について、「個別避難計画の作成件数」を削除しました。	作成することが定められているものであるため、指標としないこととして整理しました。
60	【目標指標】について、「刑法犯認知件数」を削除しました。	福祉施策の結果としては適当ではないと整理しました。
第5章 地域の推進に向けて		
計画を推進していくにあたり、その体制と市民や地域との連携、計画の進捗管理について記載しました。 計画の進捗管理につきましては、2段階で行います。 《毎年実施》 ・行政各課及び社会福祉協議会において、取り組みの調査及び評価 ・基本方針ごとに設定した目標指標による、行政及び社会福祉協議会の取り組みに対する評価 《計画の総合的判断》 ・基本目標ごとに設定した指標項目による、第4次計画全体としての評価		
第6章 地域の取り組み		
各中学校区懇談会において、それぞれのまちづくりのテーマや具体的な取り組みを協議し、地域の取り組みとしてまとめました。		
第8章 重層的支援体制整備事業への取り組み		
豊川市が実施する重層的支援体制整備事業の概要についての資料を掲載します。資料は当日配布とさせていただきますが、参考資料として豊川市重層的支援体制整備事業の実施方針案を送付させていただきます。		

- ・第9章の資料編については、策定経緯、設置要綱、委員名簿、用語集（注釈）を予定しています。
- ・用語集（注釈）については、計画全体に1か所掲載されるものについては当該ページに記載し、全体的に掲載される事項に注釈があった方が良いと思うものを記載します。